

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌旭ヶ丘校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 35名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・発達の状況や課題について 職員間での共通理解をした上での個別支援	・職員間で相互理解を大切にして、児童の情報や状況を口頭で確認、日々の支援に活かしている。	・北海道ユニット内での内部研修や外部研修等により、様々な事例を学ぶことで多角的な視点を養い、広い視野での観点を 持って、トータルとして療育の質の向上へと務めて行きます。
2	・専門性を大切にした支援	・職員の経験や得意分野などの背景から、チーム全体で支援する事が効果的です。異なる視点やスキルを組み合わせることでより包括的な支援を行っています。	・職員の継続的な学習とトレーニングは重要と考えます。専門知識や技術を常にアップデートし、最新の情報や技術を取り入れる事で質の高い支援を提供できるように取り組んでいきます。
3	・相談支援	・保護者様からのフィードバックを積極的に取り入れることで、サービスの改善に役立てます。反省点や成功例をお互いに共有する事で支援の質の向上に寄与いたします。	・保護者様中心のアプローチとして ニーズや希望に応じて、個別対応。個々の状況を詳しく理解し、適切な支援提供を。 ・定期的なフォローアップとして 家族支援や事業所内見学を定期的に行うことで、保護者様との更なる信頼関係の構築を目指して行きます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練、社内研修等の活動に関する周知や報告	定期的な避難訓練の実施や社内研修等の発信が保護者へ伝わっていないケースがある。	・SNSやLINE等の多様なプラットフォームを活用 実施している活動内容を保護者向けへ定期的に発信、風通しの良い関係性の構築に務める。 ・写真や動画等の視覚的に魅力的なコンテンツを作成、情報をわかりやすく伝えることも重要と考えます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌旭ヶ丘

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

42名

回収数

35名(83%)

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	5	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32	2	0	1	曜日や時間帯により予約が取れない時もありますが、今は適切かなと思います。	・運営上問題ない配置とはなりますが、安全安定運営を目指して職員の増員を考えています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	3	0	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	2	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	2	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	2	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	2	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	5	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	4	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	7	11	9	・他所と交流することが、良いことと限らないのでこのままでも良いと思います。 ・特に必要性を感じていません。	・現状の運営を大切にしながらも状況を鑑みて個別の対応を考えます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	2	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	4	1	8	家族で何か出来ることや、困りごとへの対応等、様々な研修会などの情報を教えてもらおうとありがたいです。	・内部研修で学んだ事を還元できたり、相談の機会を設けられるように更なる運営体制の強化を考えます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	34	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2	0	4		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	8	3	16	最近の保護者は忙しくて集会参加は負担だと思う一方、仲間を見つけて励まし合いたい気持ちもある。機会があると嬉しいが行けるか自分も分からない。	・保護者との繋がりを考え、茶話会等の実施も検討させていただきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	2	0	6		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	3	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	3	1	8	ホームページはあまりみていなかったの で、最近SNSでお知らせが届くようになり 便利になったと思います。	・現状、運営関連での発信用LINEとはなりま す。運営側としても可能な限り利便性を重視 してアップデートしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	2	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	3	0	11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	5	0	13		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	2	0	8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	13		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34	0	0	0	・先生たちが優しく接してくれるので、 安心して通っています。	・ありがとうございます。安心感をもって通 所頂ける事、大切な事ですので今後も継続し て対応させていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	2	0	0	・その日の心理状況により、楽しみより話を聞いてもらいたかったり 相談したいという思いが強い時があります。 ・勉強も少しずつ進み、わかっていくことも楽しんでいる様に思 います。	・次に繋がる支援、またクラ・ゼミに通いたいとい った気持ちは大切な事ですので職員一同しっかり としたサービスを提供させて頂けるように努めま す。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	1	0	0	・子どもが毎週通える様な環境を作って 下さり、知識や意欲も増えてきました。	・保護者、児童の皆様にご満足いただける 支援を提供できるように日々精進させて 頂きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌旭ヶ丘校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			・現状、配置基準は適切ではあるが、更なる充実を図る為に職員+1名の増員に関しては検討中。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		・環境整備において、劣化している物等、入れ替えを行っている段階。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		・個別での面談等のヒアリングから改善すべき課題を把握してより良い職場環境を目指して行きます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		・現状、第三者による外部評価の導入予定はないため、内部監査と事業所評価で業務改善している状況にあります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	3		・必要と判断した児童に関しては計画に記載して実施をさせていただきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		・児童に対して有益な体制を整えられるよう検討させていただきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		・保護者からの情報や学校のHP等で確認、調整を進めて参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		・利用者のニーズを大切に柔軟な対応をと考えます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		・現状の要望がない状況にありますが、適宜対応させていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		・状況を鑑みて連携させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		・現状交流を希望している保護者はいらっしゃいませんが、要望に応じて対応させていただきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		・児発連協議会へ加入させて頂いています。現状は児発管が定期的に参加している状況ですが、他職員を含めて積極的に参加していきたいと考えます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・ペアレントトレーニングに対応できる職員が不在となります。	・相談等に関しては定期的実施しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6		・保護者の要望も伺いながら企画していきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6			・地域との連携を強化していきたいと考えます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			・全利用者への周知に更に力を入れる必要性があり。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1			・訓練不参加の利用者、保護者への説明を実施する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6					